

施策 5 2 1

区民が生涯にわたり学び、その成果を活かすことができる環境をつくる

令和7年度 施策評価シート

基本目標	V 区民と区が協働で「すみだ」をつくる
政 策	520 生涯学習・スポーツ活動の輪が広がるまちをつくる
施 策	521 区民が生涯にわたり学び、その成果を活かすことができる環境をつくる
施策の目標	区民がさまざまな生涯学習活動に主体的に取り組み、生きがいのある生活を送っています。また、区民の間に生涯学習の輪が広がり、自身が学習した学習成果を地域活動に活かしています。

1 基本計画における成果指標の状況

指標名	「さまざまな学習活動に取り組んでいる」区民の割合（％）				
	基準年 (H28)	H29	H30	H31	R2
目標	—	—	—	—	40
実績	38.1	—	—	—	39.2
	R3	R4	R5	R6	R7
目標	—	—	—	—	42
実績	—	—	—	—	

指標名	「身近な場所で学習活動ができる」と思う区民の割合（％）				
	基準年 (H28)	H29	H30	H31	R2
目標	—	—	—	—	53.5
実績	52	—	—	—	49.1
	R3	R4	R5	R6	R7
目標	—	—	—	—	60
実績	—	—	—	—	

2 目標と現状（実績）についての分析及び総事業費推移

指標の推移・施策の課題や問題点について記述	総事業費推移（千円）	
・図書館は様々な学習活動ができる場として大きな役割を果たしている一方、電子書籍の充実や電子申請等DXの推進を図り、幅広い利用層を取り込む必要がある。 ・生涯学習センターは、設備面では老朽化への対応が課題であり、事業面では行政課題や地域課題の解決に資する事業を展開する必要がある。	R4	1,221,284
	R5	1,260,848
	R6	1,440,668

3 施策の評価及び判断理由

評価	理由
B	・利用者への情報発信やサービス提供等、図書館各事業の工夫と改善に取り組む。 ・学習活動は民間事業者等でも行われている中、区が行うべき事業の精査が必要。生涯学習センターは、指定管理者による成果が出ている中、指標目標の達成を目指す。

4 今後の施策の運営方針

	施策の戦略的方向性
○	(1) 優先的に資源投入を図る
●	(2) 現状維持とする
○	(3) 現状維持だが、より効率的な運営を図る
○	(4) 資源投入の縮小を図る
上記の判断理由	
・図書館既存事業においては、DXの推進を意識しながら、効率的で効果的な事業運営を図る。 ・生涯学習活動は、学びの成果を地域活動に生かしていく仕組みについて検討する。生涯学習センターは、効率的運営とサービス向上、施設・設備の適切な維持に向けてモニタリングを行っていく。	
今後の具体的な方針	
・電子書籍の充実及び電子申請等DX推進の取組と、事業における適切な情報発信の工夫により、必要としている対象者に確実に伝えるとともに、利用促進を図っていく。 ・学習の成果を地域課題解決へと生かすための仕組みについて検討していく。	

5 この施策に係る事務事業

番号	事務事業名	主管課	決算額(A) (千円)	人コスト(B) (千円)	総事業費 (A+B) (千円)	評価結果
1	すみだ生涯学習センター管理運営	地域活動推進課	203,955	3,662	207,617	現状維持
2	地域力育成・支援事業費（リクエスト講座実施事業）	地域活動推進課	11	915	926	改善・見直しのうえ継続
3	指定管理者による管理運営委託費（長期修繕計画工事）	ひきふね図書館	311,638	32,039	343,677	現状維持
4	ひきふね図書館維持管理経費	ひきふね図書館	311,638	32,039	343,677	現状維持
5	ひきふね図書館窓口業務等委託経費	ひきふね図書館	190,678	29,007	219,685	現状維持
6	図書館資料費	ひきふね図書館	67,610	52,178	119,788	現状維持
7	子ども読書活動推進事業費	ひきふね図書館	56,391	33,870	90,261	現状維持
8	図書館オンライン経費	ひきふね図書館	60,744	9,154	69,898	現状維持
9	図書館と学校図書館の連携経費	ひきふね図書館	16,765	7,323	24,088	現状維持
10	障害者サービス経費	ひきふね図書館	1,827	19,223	21,050	現状維持

令和7年度 事務事業評価シート

No. 1

施 策	521 区民が生涯にわたり学び、その成果を活かすことができる環境をつくる					
事 業 名	すみだ生涯学習センター管理運営					
主管課	地域活動推進課	電話番号（内線）	5408			
目 的	学びと交流をもとに、生涯学習活動はもとより、文化活動・地域活動を行う施設として位置付けている。					
対 象 者	すみだ生涯学習センター利用者					
根拠法令 関連計画	すみだ生涯学習センター条例 すみだ生涯学習センター条例施行規則					
実施基準	区独自基準	実施方法	全部委託	人員体制・委託先	常勤2 指定管理者：JNすみだ共同事業体	
事業内容	○施設概要 ホール、ドーム、リハーサル室、陶芸室、創作活動室、研修室、講習室、多目的室、和室、茶室、視聴覚室、視聴覚スタジオ、音楽スタジオ、編集調整室、音楽室、ピアノ室、無線室、展示ギャラリーを含むエントランスホール、学習相談コーナー、活動支援室、交流ラウンジ、駐車場等 ○管理運営・事業 すみだ生涯学習センター条例に基づき、施設の管理運営を行うとともに、生涯学習講座及び生涯学習活動の促進等に係る各種事業を行う。					
経 過	開始年度	平成6年度			終了予定	
	○管理運営 [平成6年12月] すみだ生涯学習センター開設 [平成25年3月] プラネタリウム館閉館 → [平成27年4月] ドーム開館（プラネタリウム館跡） [平成30年度] すみだ生涯学習センター条例全部改正、本館について別館を集約化するための改修工事 [平成31年3月] 別館について老朽化のため閉館 → [平成31年4月] 本館リニューアルオープン（指定管理者導入） ○事業 [平成12年度～平成29年度]特定非営利活動法人すみだ学習ガーデンへ委託・補助のもと、各種事業を実施 [平成30年度] 区庁舎にて実施の事業を含めて各種事業を大幅に見直し、各講座、情報誌「つながり」の発行などを実施 [令和元年度～]指定管理者において、各種講座、情報誌「つながり」の発行などを実施					
議会質問 の 状 況						
そ の 他 特記事項	令和元年度より指定管理者（JNすみだ共同事業体）による運営に移行している。					

予算・決算額推移（単位：千円）		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算現額（令和7年度は当初予算）		269,207	207,620	215,338	175,582	207,540	217,710
A. 決算額（令和7年度は見込み）		259,301	206,207	182,179	172,104	203,955	217,710
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		259,301	206,207	182,179	172,104	203,955	217,710
執行率（％）		96.32％	99.32％	84.6％	98.02％	98.27％	100％
B. 人コスト		3,529	3,518	3,272	3,405	3,662	
総事業費（A+B）		262,830	209,725	185,451	175,509	207,617	
予算書P（令和7年度）		116		執行実績報告書P（令和6年度）			

主な予算・決算の内訳（単位：千円）					
令和5年度（決算）		令和6年度（決算）		令和7年度（当初予算）	
節	金額	節	金額	節	金額
委託料	163,624	委託料	181,271	委託料	205,615
使用料及び賃借料	4,865	工事請負費	20,385	工事請負費	9,511
工事請負費	3,458	使用料及び賃借料	2,070	使用料及び賃借料	2,056
役務費	157	補償補填及び賠償金	231	役務費	528
概 要		概 要		概 要	

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	利用率				単位	%
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	H31
		70	令和7年度	目標	61	62	63	64
				実績	62.6	60		48.3
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	65	66	67	68	69	70
		実績	42.6	49.2	52.3	53.6	55.9	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		別館廃止（本館への別館統合）の影響はあるものの、端的に利用者ニーズを数値として確認できることから選定した。						
	目的に対する指標 (成果指標)	指標	「身近な場所で学習活動ができる」と感じる区民の割合				単位	%
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	H31
		60	令和7年度	目標	—	—	—	—
				実績	52	—	—	—
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	53.5	—	—	—	—	60
		実績	49.1	—	—	—	—	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		区民の求めに応じ、さまざまな学習活動の場を紹介する学習情報の提供機能も担う施設として、基本計画に掲げられた指標を選定した。						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	第2次公共施設マネジメント実行計画等に沿って平成31年3月31日に別館を廃止・事務事業を大幅に見直しの上、指定管理者を導入した。 今後とも、効率的運営とサービス向上に向けて、適切に指定管理者へのモニタリングを行っていく。

課題・問題点
施設・設備の経年劣化に伴い、今後も計画的修繕を実施していく必要がある。 また、行政課題・地域課題の解決に資する講習・講座や事業の展開を図っていく必要がある。

令和7年度 事務事業評価シート

No. 2

施 策	521 区民が生涯にわたり学び、その成果を活かすことができる環境をつくる					
事 業 名	地域力育成・支援事業費（リクエスト講座実施事業）					
主管課	地域活動推進課				電話番号（内線）	5403
目 的	区民の自主的なまなびを支援するとともに、区民参画によるまちづくりを推進する。					
対 象 者	区民等10人以上で構成しており、自主的な学習会等を行う団体					
根拠法令 関連計画	リクエスト講座実施要綱					
実施基準	区独自基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤2	
事業内容	（概要）区民が主催する講座や学習会に区の職員が出向き、担当する事業の紹介や専門知識・技術などの情報を提供する。 ・対象：原則、構成員が10人以上で、かつその半数以上が墨田区内に在住又は在勤している団体 ・派遣時間：午前9時から午後9時までの間で、1講座2時間以内 ・費用：講師料は無料。ただし、テキスト代等の実費は団体の負担。 ・申込方法：職員の派遣を希望する日の20日前までに、窓口・電話いずれかの方法で地域活動推進課に申込み 講座を利用した団体は、講座終了後にアンケートを提出する。					
経 過	開始年度	平成13年度			終了予定	
	区職員の学習団体への派遣は従来から各部署で個々に実施してきたが、平成13年度の第二次生涯学習推進計画策定により墨田区生涯学習リクエスト講座実施要綱を定め、全庁的な取組として実施 平成13年度 墨田区生涯学習リクエスト講座実施要綱 制定 平成24年度 派遣職員の人件費等の支出を生涯学習課の事業費から、各派遣主管課の事業費での支出に変更 生涯学習課に予算配当は行われていない。 平成29年度 組織改正により、地域力支援部スポーツ・学習課に事務移管 平成30年度 組織改正により、地域力支援部地域活動推進課に事務移管 墨田区リクエスト講座実施要綱 一部改正（名称、組織名称ほか）					
議会質問 の 状 況						
そ の 他 特記事項						

予算・決算額推移（単位：千円）		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算現額（令和7年度は当初予算）		16	18	14	9	11	18
A. 決算額（令和7年度は見込み）		11	15	14	9	11	18
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		11	15	14	9	11	18
執行率（％）		68.75％	83.33％	100％	100％	100％	100％
B. 人コスト		882	880	818	851	915	
総事業費（A+B）		893	895	832	860	926	
予算書P（令和7年度）		110		執行実績報告書P（令和6年度）			

主な予算・決算の内訳（単位：千円）					
令和５年度（決算）		令和６年度（決算）		令和７年度（当初予算）	
節	金額	節	金額	節	金額
需用費	9	需用費	11	需用費	18
概 要		概 要		概 要	

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	派遣回数				単位	回
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		10	令和７年度	目標	10	10	10	10
				実績	10	6	8	6
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	10	10	10	10	10	10
		実績	0	1	1	3	3	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		区民が直接区政に関する知識を得る有効な機会である。 毎年度１０回程度の派遣を目標とする。						
	目的に対する指標 (成果指標)	指標	受講者の理解度				単位	%
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		90	令和７年度	目標	90	90	90	90
				実績	90	100	87.5	80
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	90	90	90	90	90	90
		実績	0	100	100	100	100	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		受講者の理解度を指標とすることによって、本事業が区民の学習支援に効果的であるかどうかを測ることができる。（講座終了後にアンケート調査を実施）						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	区職員が行政に関する情報を区民に提供することは必要である。

課題・問題点
講座の申込みに係る相談件数は増加傾向にある。今後、本制度の活用を希望する団体が増加することが予想されるため、多くの団体が制度を活用できるように、区ホームページやチラシなどにより、引き続き区民へのPRを図る必要がある。

令和7年度 事務事業評価シート

No. 3

施 策	521 区民が生涯にわたり学び、その成果を活かすことができる環境をつくる					
事 業 名	指定管理者による管理運営委託費（長期修繕計画工事費を含む）					
主管課	ひきふね図書館	電話番号（内線）	5655-2350			
目 的	指定管理者による運営をしている緑図書館、立花図書館及び八広図書館において、安全かつ適正な施設管理を行うことにより、来館者が快適で利用しやすい環境をつくる。					
対 象 者	来館者（主に区内在住・在勤・在学の方、隣接区に在住の方）					
根拠法令 関連計画	教育基本法、社会教育法、図書館法、文字・活字文化振興法、墨田区立図書館条例等					
実施基準	区独自基準	実施方法	一部委託	人員体制・委託先	常勤3、株式会社図書館流通センター	
事業内容	緑図書館、立花図書館及び八広図書館における指定管理者制度による施設運営及び維持管理					
経 過	開始年度	平成29年度			終了予定	
	昭和26年度 墨田区立寺島図書館が開館（東京市立→墨田区立） 昭和32年度 緑図書館が緑二丁目1番地に開館 昭和37年度 あずま図書館が吾嬬町西三丁目1番地に開館 昭和55年度 立花図書館・八広図書館が開館 平成2年度 緑図書館が緑二丁目24-5号に新築、開館 平成14年度 窓口業務に一部委託導入 平成25年度 あずま図書館と寺島図書館を統合し、ひきふね図書館が開館 平成29年度 緑・立花・八広図書館に指定管理者制度導入（指定期間：平成29年度～令和3年度） 指定管理者：株式会社図書館流通センター 令和4年度 契約期間満了により指定管理者を更新（指定期間：令和4年度～令和8年度） 指定管理者：株式会社図書館流通センター 令和6年度 立花図書館大規模修繕工事を実施 令和7年度 八広図書館大規模修繕工事を実施予定					
議会質問 の 状 況						
そ の 他 特記事項	令和7年度に実施予定である八広図書館大規模修繕工事について、円滑な工事の実施及び利用者に対して適切に対応をする必要がある。					

予算・決算額推移（単位：千円）		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算現額（令和7年度は当初予算）		301,676	215,445	249,129	257,155	328,880	304,093
A. 決算額（令和7年度は見込み）		262,024	212,380	241,055	245,339	311,638	304,093
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		262,024	212,380	241,055	245,339	311,638	304,093
執行率（％）		86.86％	98.58％	96.76％	95.41％	94.76％	100％
B. 人コスト		14,115	14,074	19,630	29,792	32,039	
総事業費（A+B）		276,139	226,454	260,685	275,131	343,677	
予算書P（令和7年度）		P238 3-(1)、(2)		執行実績報告書P（令和6年度）			

主な予算・決算の内訳（単位：千円）					
令和5年度（決算）		令和6年度（決算）		令和7年度（当初予算）	
節	金額	節	金額	節	金額
委託料	197,749	委託料	198,733	委託料	191,350
負担金補助及び交付金	30,901	工事請負費	64,858	工事請負費	112,743
役務費	8,756	負担金補助及び交付金	31,951		
工事請負費	3,265	役務費	11,138		
使用料及び賃借料	2,495	使用料及び賃借料	3,147		
概 要		概 要		概 要	
・ 緑、立花、八広図書館に係る指定管理委託料等		・ 緑、立花、八広図書館に係る指定管理委託料等 ・ 立花図書館長期修繕工事		・ 緑、立花、八広図書館に係る指定管理委託料等 ・ 八広図書館長期修繕工事 ・ 事業仕分けの見直しによる減	

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	開館日数				単位	日
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		342	令和7年度	目標	346	342	342	342
				実績	342	342	342	331
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	342	342	342	342	343	342
		実績	302	325	342	342	343	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		管理面でのトラブル等による閉館となることがないよう、図書館の開館日数を選定した。 また、目標値は、年間総数から条例に基づく休館日及び特別整理期間等を差引き342日とした。						
事業の成果	目的に対する指標 (成果指標)	指標	来館者数				単位	人
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		1,020,000	令和7年度	目標	934,000	940,000	950,000	960,000
				実績	934,281	1,081,324	1,121,418	1,046,853
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	970,000	980,000	990,000	1,000,000	1,010,000	1,020,000
		実績	632,808	877,907	935,998	971,091	991,014	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		来館者数を指標とすることで、図書館が生涯学習の拠点として安全かつ適正に管理運営されている施設であることが示せる。目標値は、着実に来館数を増やしていく値とした。						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	図書館が「生涯学習の拠点」の役割を今後とも担えるように、施設の維持を継続するとともに、引き続き図書館サービスの充実を目指す。

課題・問題点
令和7年度八広図書館の大規模修繕工事が予定されているため、工事内容の調整、開館の工夫や、当該図書館が入居する都営住宅の所有者である東京都との調整等が必要になる。

令和7年度 事務事業評価シート

No. 4

施 策	521 区民が生涯にわたり学び、その成果を活かすことができる環境をつくる					
事 業 名	ひきふね図書館維持管理経費					
主管課	ひきふね図書館				電話番号（内線）	5655-2350
目 的	安全かつ適正な施設維持管理を行うことにより、来館者が快適で利用しやすい環境をつくる。					
対 象 者	来館者 （主に区内在住・在勤・在学の方、隣接区に在住の方）					
根拠法令 関連計画	教育基本法、社会教育法、図書館法、文字・活字文化振興法、墨田区立図書館条例等					
実施基準	区独自基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤3	
事業内容	ひきふね図書館の施設維持管理					
経 過	開始年度	昭和26年度			終了予定	
	[昭和26年度] 墨田区立寺島図書館が開館（東京市立→墨田区立） [昭和32年度] 緑図書館が緑二丁目1番地に開館 [昭和37年度] あずま図書館が吾嬬町西三丁目1番地に開館 [昭和55年度] 立花図書館・八広図書館が開館 [平成2年度] 緑図書館が緑二丁目24-5号に新築・開館 [平成14年度] 窓口業務に一部委託導入 [平成25年度] あずま図書館と寺島図書館を統合し、ひきふね図書館が開館 [平成29年度] 緑・立花・八広各館に指定管理者制度導入					
議会質問 の 状 況	令和5年 6月（子ども文教委員会）：ブックポストの設置について 令和5年 11月（定例会）：ブックポストの設置について 令和6年 3月（予算特別委員会）：ブックポストの設置について 令和6年 12月（子ども文教委員会）：グループ学習室、閲覧席の予約について 令和7年 1月（放課後対策・幼稚園の在り方調査特別委員会）：子どもの放課後の居場所について 令和7年 3月（予算特別委員会）：子どもの放課後の居場所について					
そ の 他 特記事項						

予算・決算額推移（単位：千円）		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算現額（令和7年度は当初予算）		301,676	215,445	249,129	257,155	328,880	40,320
A. 決算額（令和7年度は見込み）		262,024	212,380	241,055	245,339	311,638	40,320
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		262,024	212,380	241,055	245,339	311,638	40,320
執行率（％）		86.86％	98.58％	96.76％	95.41％	94.76％	100％
B. 人コスト		14,115	14,074	19,630	29,792	32,039	
総事業費（A+B）		276,139	226,454	260,685	275,131	343,677	
予算書P（令和7年度）		P237 2-(2)		執行実績報告書P（令和6年度）			

主な予算・決算の内訳（単位：千円）					
令和5年度（決算）		令和6年度（決算）		令和7年度（当初予算）	
節	金額	節	金額	節	金額
委託料	197,749	委託料	198,733	負担金補助及び交付金	16,329
負担金補助及び交付金	30,901	工事請負費	64,858	役務費	11,636
役務費	8,756	負担金補助及び交付金	31,951	委託料	9,208
工事請負費	3,265	役務費	11,138	使用料及び賃借料	3,147
使用料及び賃借料	2,495	使用料及び賃借料	3,147		
概 要		概 要		概 要	
・ひきふね図書館施設管理に係る経費 ・緑、立花、八広図書館に係る指定管理委託料等		・ひきふね図書館施設管理に係る経費 ・緑、立花、八広図書館に係る指定管理委託料等 ・立花図書館長期修繕工事		・ひきふね図書館施設管理に係る経費 ・事業仕分けの見直しによる減	

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	開館日数				単位	日
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	H31
		342	令和7年度	目標	346	342	342	342
				実績	342	342	342	331
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	342	342	342	342	343	342
		実績	302	325	342	342	343	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		管理面でのトラブル等による閉館となることがないよう、図書館の開館日数を選定した。また、目標値は、年間総数から条例に基づく休館日及び特別整理期間等を差引き342日とした。						
	目的に対する指標 (成果指標)	指標	来館者数				単位	人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	H31
		1,020,000	令和7年度	目標	934,000	940,000	950,000	960,000
				実績	934,281	1,081,324	1,121,418	1,046,853
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	970,000	980,000	990,000	1,000,000	1,010,000	1,020,000
		実績	632,808	877,907	935,998	971,091	991,014	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		来館者数を指標とすることで、図書館が生涯学習の拠点として安全かつ適正に管理運営されている施設であることが示せる。目標値は、着実に来館数を増やしていく値とした。						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	図書館が「生涯学習の拠点」の役割を今後とも担えるように、施設の維持を継続するとともに、引き続き図書館サービスの充実を目指す。

課題・問題点
図書館の利用目的として、調べものの調査や学習の場としての活用が増加している一方、閲覧席の不足が課題になっていて、スペースの工夫に限界がきている。

令和7年度 事務事業評価シート

No. 5

施 策	521 区民が生涯にわたり学び、その成果を活かすことができる環境をつくる					
事 業 名	ひきふね図書館窓口業務等委託経費					
主管課	ひきふね図書館				電話番号（内線）	5655-2350
目 的	生涯学習の拠点として、有識者や教育関係者の専門的な知見の活用や区民の意見を取り入れながら、図書館サービスの向上を図る。 また、各種イベント等の実施により、区民が生涯にわたって学ぶことができる環境をつくる。					
対 象 者	来館者 （主に、区内在住・在勤・在学の方、隣接区に在住の方）					
根拠法令 関連計画	教育基本法、社会教育法、図書館法、文字・活字文化振興法、墨田区立図書館条例等					
実施基準	区独自基準	実施方法	一部委託	人員体制・委託先	常勤12、（株）図書館流通センター	
事業内容	・窓口業務等委託 ・英語多読講座講師業務委託					
経 過	開始年度	平成14年度			終了予定	
	[平成14年度] 窓口業務の一部委託開始 [平成20年度] 全図書館を毎月第3木曜日の館内整理日及び年末年始の休日以外の日を開館日とした。 [平成29年度] 緑・立花・八広の3図書館に指定管理者制度を導入					
議会質問 の 状 況	令和3年2月、墨田区立図書館条例改正を行い、区議会図書室との連携が明記された。					
そ の 他 特記事項						

予算・決算額推移（単位：千円）		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算現額（令和7年度は当初予算）		182,414	180,511	180,555	181,776	192,903	151,093
A. 決算額（令和7年度は見込み）		173,790	177,462	178,563	179,654	190,678	151,093
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	0	0	0	0
	その他	1,050	985	805	786	804	0
一般財源		172,740	176,477	177,758	178,868	189,874	151,093
執行率（％）		95.27％	98.31％	98.9％	98.83％	98.85％	100％
B. 人コスト		17,168	16,712	19,134	28,347	29,007	
総事業費（A+B）		190,958	194,174	197,697	208,001	219,685	
予算書P（令和7年度）		P238 4-(2)		執行実績報告書P（令和6年度）			

主な予算・決算の内訳（単位：千円）					
令和5年度（決算）		令和6年度（決算）		令和7年度（当初予算）	
節	金額	節	金額	節	金額
委託料	122,720	委託料	122,720	委託料	151,093
報酬	36,430	報酬	39,232		
職員手当等	7,612	職員手当等	15,631		
役務費	7,095	役務費	7,372		
需用費	4,545	需用費	4,800		
概 要		概 要		概 要	
・ ひきふね図書館窓口業務委託経費等		・ ひきふね図書館窓口業務委託経費等		・ ひきふね図書館窓口業務委託経費等 ・ 事業仕分けの見直しによる減	

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	イベント実施数				単位	回
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		300	令和7年度	目標	250	260	265	270
				実績	266	465	499	388
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	275	280	285	290	295	300
		実績	18	76	392	412	628	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		図書館においてさまざまなイベントを実施し参加してもらうことで、利用がなかった方の今後の利用に繋がるものとする。また、目標値については着実にイベント数を増やしていく値とした。						
	目的に対する指標 (成果指標)	指標	来館者数				単位	人
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		1,020,000	令和7年度	目標	934,000	940,000	950,000	960,000
				実績	934,281	1,081,324	1,121,418	1,046,853
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	970,000	989,000	990,000	1,000,000	1,010,000	1,020,000
		実績	632,808	877,907	935,998	971,091	991,014	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		来館者数を指標とすることで、あらゆる世代のニーズに応えるサービスを展開し、生涯学習の拠点として機能しているとする。また、目標値については着実に来館者数を増やしていく値とした。						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	図書館が「地域の活性化を支える情報拠点」、「区民に役立つ図書館」を目指すために、イベントや講座、また展示やホームページ等の充実を図る。

課題・問題点
図書館の利用目的として、調べものの調査や学習の場としての活用が増加している一方、閲覧席の不足が課題になっていて、スペースの工夫に限界がきている。

令和7年度 事務事業評価シート

No. 6

施 策	521 区民が生涯にわたり学び、その成果を活かすことができる環境をつくる					
事 業 名	図書館資料費					
主管課	ひきふね図書館				電話番号（内線）	5655-2350
目 的	区民及び区外の利用者の知る自由が保障されるように、幅広い分野の資料にアクセスできる状態にすること。					
対 象 者	来館者 （主に区内在住・在勤・在学の方、隣接区に在住の方）					
根拠法令 関連計画	社会教育法、図書館法、墨田区立図書館条例、墨田区立図書館条例施行規則、墨田区立図書館資料収集要綱					
実施基準	区独自基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤7、会計年度任用職員5	
事業内容	区立図書館に必要な資料として媒体別に、適切に選定・購入する。 購入実績値：図書20,998冊、雑誌9,493冊、外新聞や官報、追録等、データベース8種導入					
経 過	開始年度	昭和26年度			終了予定	
	[昭和26年度] 墨田区立寺島図書館が開館（東京市立→墨田区立） [昭和32年度] 緑図書館が緑二丁目1番地に開館 [昭和37年度] あずま図書館が吾嬬町西三丁目1番地に開館 [昭和55年度] 立花図書館・八広図書館が開館 [平成2年度] 緑図書館が緑二丁目24-5号に新築・開館 [平成25年度] あずま図書館と寺島図書館を統合し、ひきふね図書館が開館 [令和5年度] 電子書籍サービスの開始					
議会質問 の 状 況	・令和2年6月（定例会）：ビジネス支援の取組について ・令和3年2月（定例会・子ども文教委員会）：電子書籍の導入について ・令和5年3月（予算特別委員会）：電子書籍を導入するにあたっての課題について ・令和7年3月（子ども文教委員会）：電子書籍利用率の低さについて					
そ の 他 特記事項						

予算・決算額推移（単位：千円）		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算現額（令和7年度は当初予算）		68,967	65,327	65,329	68,950	69,601	74,604
A. 決算額（令和7年度は見込み）		67,061	65,091	62,884	68,148	67,610	74,604
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		67,061	65,091	62,884	68,148	67,610	74,604
執行率（％）		97.24％	99.64％	96.26％	98.84％	97.14％	100％
B. 人コスト		33,524	33,425	42,531	48,518	52,178	
総事業費（A+B）		100,585	98,516	105,415	116,666	119,788	
予算書P（令和7年度）		P238 4-(3)		執行実績報告書P（令和6年度）			

主な予算・決算の内訳（単位：千円）					
令和5年度（決算）		令和6年度（決算）		令和7年度（当初予算）	
節	金額	節	金額	節	金額
需用費	63,986	需用費	62,942	需用費	68,717
使用料及び賃借料	4,162	使用料及び賃借料	4,668	使用料及び賃借料	5,353
				委託料	534
概 要		概 要		概 要	
・図書資料購入費等		・図書資料購入費等		・図書資料購入費等 ・視聴覚資料購入費及び資料整理管理 （事業仕分けの見直しによる増）	

事業の成果	手段に対する指標 （活動指標）	指標	個人貸出点数（視聴覚資料除く）				単位	点
		最終目標値	目標年度		基準年（H28）	H29	H30	H31
		1,680,000	令和7年度	目標	1,590,000	1,600,000	1,610,000	1,620,000
				実績	1,591,987	1,711,546	1,769,969	1,717,531
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	1,630,000	1,640,000	1,650,000	1,660,000	1,670,000	1,680,000
		実績	1,502,921	1,893,740	1,871,412	1,813,411	1,763,786	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		資料の購入と個人貸出点数は、密接な関係にあることから指標とした。 なお、最終目標値は着実に個人貸出点数を増やしていく値とした。						
	目的に対する指標 （成果指標）	指標	来館者数				単位	人
		最終目標値	目標年度		基準年（H28）	H29	H30	H31
		1,020,000	令和7年度	目標	934,000	940,000	950,000	960,000
				実績	934,281	1,081,324	1,121,418	1,046,853
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	970,000	980,000	990,000	1,000,000	1,010,000	1,020,000
		実績	632,808	877,907	935,998	971,091	991,014	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		「来館者数」が増加していくということが、図書館があらゆる世代の利用者のニーズにこたえるサービスを展開しており、生涯学習の拠点として機能していると考えられる。						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	必要な資料を幅広く揃え続けていくことで、地域の教育、教養、文化等の発展に寄与する。 また、情報発信としてホームページや展示、配布物を充実及び工夫していく。

課題・問題点
墨田区の人口増及び図書館へのニーズの変化に応じて、図書館資料の幅広い収集を図る必要がある。また、電子書籍サービスにおける利用者の拡大やコンテンツの追加等サービス拡大の推進により利用率の向上を図るとともに、地域資料や長期的に活用される資料等についても引き続き収集する必要がある。

令和7年度 事務事業評価シート

No. 7

施 策	521 区民が生涯にわたり学び、その成果を活かすことができる環境をつくる					
事 業 名	子ども読書活動推進事業費					
主管課	ひきふね図書館				電話番号（内線）	5655-2350
目 的	子どもの読書活動を推進することで、生涯にわたり学ぶことができる力を育むことを目指す。 また、子どもの読書活動の推進は、家庭・地域・学校など関係機関との連携・協力のもと総合的・体系的に実現されるものであり、地域全体の生涯学習環境の醸成に資する。					
対 象 者	0～18歳の子ども					
根拠法令 関連計画	図書館法、墨田区立図書館条例、墨田区子ども読書活動推進条例、墨田区子ども読書活動推進計画					
実施基準	区独自基準	実施方法	一部委託	人員体制・委託先	常勤4、会計年度任用4	
事業内容	墨田区子ども読書活動推進計画（第4次）に基づき、家庭、地域、学校等で子どもが読書に親しむ機会と環境を積極的に整備する。 ・ブックスタート ・調べる学習支援 ・施設等への団体貸出 ・ティーンズサービス等					
経 過	開始年度	昭和26年度			終了予定	
	平成17年度	墨田区子ども読書活動推進計画				
	平成22年度	墨田区子ども読書活動推進計画（第2次）				
	平成27年度	墨田区子ども読書活動推進計画（第3次）				
	平成30年度	墨田区子ども読書活動推進条例				
	令和2年度	墨田区子ども読書活動推進計画（第4次）				
	令和7年度	墨田区子ども読書活動推進計画（第5次）				
議会質問 の 状 況	なし					
そ の 他 特記事項						

予算・決算額推移（単位：千円）		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算現額（令和7年度は当初予算）		47,482	53,088	54,441	55,171	56,940	6,114
A. 決算額（令和7年度は見込み）		46,880	52,676	53,788	54,758	56,391	6,114
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		46,880	52,676	53,788	54,758	56,391	6,114
執行率（％）		98.73％	99.22％	98.8％	99.25％	99.04％	100％
B. 人コスト		40,581	40,462	30,262	31,494	33,870	
総事業費（A+B）		87,461	93,138	84,050	86,252	90,261	
予算書P（令和7年度）		P238 4-（4）		執行実績報告書P（令和6年度）			

主な予算・決算の内訳（単位：千円）					
令和5年度（決算）		令和6年度（決算）		令和7年度（当初予算）	
節	金額	節	金額	節	金額
委託料	49,936	委託料	50,777	需用費	4,723
需用費	3,865	需用費	4,513	役務費	683
役務費	645	役務費	700	報償費	532
報償費	312	報償費	401	委託料	176
概 要		概 要		概 要	
・区立小学校図書館運営業務委託等		・区立小学校図書館運営業務委託等		・ブックスタート用絵本の購入、団体貸出用図書の購入に係る経費 ※区立小学校図書館運営業務委託については、図書館と学校図書館の連携経費に計上	

事業の成果	手段に対する指標（活動指標）	指標	区立図書館・図書室の延べ貸出者数（18歳以下）				単位	人
		最終目標値	目標年度		基準年（H28）	H29	H30	H31
		124,000	令和7年度	目標	71,718	78,685	81,370	84,056
				実績	71,718	79,016	80,734	77,875
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	91,645	99,234	106,823	114,412	122,000	124,000
		実績	77,252	97,046	95,445	88,843	85,263	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		子ども読書活動推進計画（第4次）の数値目標のうち、18歳以下を網羅できる項目を指標として選定した。						
事業の成果	目的に対する指標（成果指標）	指標	不読率				単位	%
		最終目標値	目標年度		基準年（H28）	H29	H30	H31
		9.0/11.0（※）	令和7年度	目標	18/28	17/26	16/24	15/22
				実績	16.3/23.5	15.7/23.1	17.2/24	16.8/21.6
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	14/20	13/18	12/16	11/14	9.1/11.5	9.0/11.0
		実績	19.1/27.9	16.0/22.7	20.1/23.2	22.6/30.4	22.6/27.8	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		子ども読書活動推進計画（第4次）数値目標のうち、小5及び中2の不読率を指標として選定した。（※小5の不読率/中2の不読率）						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	令和6年度に策定した子ども読書活動推進計画（第5次）に基づき、子どもがよりよく生きていくための、人生のよきパートナーとして、本がすぐそばにあり続けることをめざし、学校や子育て関連施設、地域と連携して、子どもたちが自主的に読書活動を行うことができる環境の整備・充実を図る。

課題・問題点
集客を伴う事業（おはなし会、おたのしみ会等）は増加傾向にあり、来館者は増えているが、貸出者数は伸び悩む結果となっている。事業の展開を広げるだけでなく、図書の貸出につながるような形態の事業を開催していく必要がある。 不読率については、依然高い数値となっており、目標との差が目立つが、1冊読み切らなくても、本に触れている子どもの割合は高いため、不読率の捉え方を変えていく必要がある。

令和7年度 事務事業評価シート

No. 8

施 策	521 区民が生涯にわたり学び、その成果を活かすことができる環境をつくる					
事 業 名	図書館オンライン経費					
主管課	ひきふね図書館				電話番号（内線）	5655-2350
目 的	図書館の効率的な運営、利用者の利便性を高める役割を担うことで、区民が生涯にわたり学ぶことができる環境をつくる。					
対 象 者	来館者（主に区内在住・在勤・在学の方、近隣区に在住の方）					
根拠法令 関連計画	図書館法、墨田区立図書館条例・施行規則 墨田区行政情報化推進計画、墨田区情報システム調達・運用ガイドライン					
実施基準	区独自基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤2名	
事業内容	図書館システムをオンライン化することで、蔵書の閲覧、資料の予約・貸出・返却等、図書館サービスの向上と業務の効率化を図る。					
経 過	開始年度	昭和62年度			終了予定	
	昭和62年度	オンラインシステムの導入開始				
	平成17年度	インターネットによる予約サービスを開始				
	平成24年度	ひきふね図書館開館に合わせ、システム更新実施、同年ICタグシステム導入				
	令和元年度	システム更新（OSをWIN10に更新）				
	令和5年度	電子書籍サービスの導入				
	令和6年度	図書館利用登録のインターネットによる電子申請受付を開始				
議会質問 の 状 況	なし					
そ の 他 特記事項	墨田区立図書館条例における連携として、各コミュニティ会館図書室・すみだ共生社会推進センターにもシステム端末を連携している。 また、令和8年度に、当該図書館システムの契約更新を予定している。					

予算・決算額推移（単位：千円）		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算現額（令和7年度は当初予算）		64,779	64,764	64,758	72,385	61,404	44,881
A. 決算額（令和7年度は見込み）		64,763	64,763	64,723	72,380	60,744	44,881
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		64,763	64,763	64,723	72,380	60,744	44,881
執行率（％）		99.98％	100％	99.95％	99.99％	98.93％	100％
B. 人コスト		15,880	15,833	18,812	8,512	9,154	
総事業費（A+B）		80,643	80,596	83,535	80,892	69,898	
予算書P（令和7年度）		P238 4-(6)		執行実績報告書P（令和6年度）			

主な予算・決算の内訳（単位：千円）					
令和5年度（決算）		令和6年度（決算）		令和7年度（当初予算）	
節	金額	節	金額	節	金額
委託料	38,972	委託料	33,294	委託料	35,406
使用料及び賃借料	29,040	使用料及び賃借料	23,086	使用料及び賃借料	4,574
役務費	2,781	役務費	2,781	役務費	2,967
需用費	1,587	需用費	1,583	需用費	1,934
概 要		概 要		概 要	
図書館システム保守委託費用等		図書館システム保守委託費用等		図書館システム保守委託費用等	

事業の 成果	手段に 対する指標 （活動指標）	指標	図書館オンライン稼働日数				単位	日
		最終目標値	目標年度		基準年（H28）	H29	H30	H31
		365	令和7年度	目標	366	365	365	365
				実績	366	365	365	365
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	366	365	365	365	366	365
		実績	366	365	365	365	366	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		システムを評価する基準として基本的な指標である、システムの稼働日数を選定した。また、目標値は、システムが停止して利用できない日が生じないことを目標として、365日とした。						
	目的に 対する指標 （成果指標）	指標	インターネット利用等による予約受付件数				単位	件
		最終目標値	目標年度		基準年（H28）	H29	H30	H31
		465,000	令和7年度	目標	420,000	430,000	430,000	435,000
				実績	426,957	463,896	500,871	536,026
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	440,000	445,000	450,000	455,000	460,000	465,000
		実績	589,909	703,741	670,492	654,930	663,509	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		利用者が本を借りる際、窓口及び電話に加えて、図書館webサイトから予約が可能であり、図書館サービスの向上に寄与しているため、この指標を選定した。目標値は実績値等を参考にした。						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	図書館システムのオンライン化の推進は、図書館サービスの向上と業務の効率化に欠かせないものであることから、引き続き円滑な運営を行っていく。

課題・問題点
令和6年度に導入した利用登録の電子申請の利用を促進し、電子書籍サービスの利用を含めたインターネットによる利用者へのサービス拡充を図ることで、利用者へのサービス提供と窓口業務の効率化を同時に推進していく必要がある。 また、令和8年度に予定している図書館システムの更新についても、サービスの拡充と業務の効率化を両立できるよう努める必要がある。

令和7年度 事務事業評価シート

No. 9

施 策	521 区民が生涯にわたり学び、その成果を活かすことができる環境をつくる					
事 業 名	図書館と学校図書館の連携経費					
主管課	ひきふね図書館				電話番号（内線）	5655-2350
目 的	学校図書館の環境整備や支援を通して読書活動の推進を図ることにより、児童・生徒が情報リテラシー能力を身に付け、さまざまな学習活動に主体的に取り組んでいける環境をつくる。また学校司書による支援を通じて児童の読書活動を推進させる。					
対 象 者	児童・生徒及び教員、学校図書館司書					
根拠法令 関連計画	学校図書館法、墨田区子ども読書活動推進条例、墨田区子ども読書活動推進計画（第4次）、墨田区立図書館条例					
実施基準	区独自基準	実施方法	一部委託	人員体制・委託先	常勤2・会計年度任用職員10・(株)図書館流通センター	
事業内容	区内小中学校での児童・生徒の読書活動の推進を図るため、学校図書館システムの運用支援を行うとともに、学校図書館司書による学校図書館の運営支援を行う。 また、放課後に学校図書館を開放し、読書の機会を充実することで、児童の読書活動をさらに推進するとともに、学校図書館を放課後における児童の居場所として活用する。					
経 過	開始年度	平成18年度			終了予定	
	[平成18～23年度] 小中学校35校に学校図書館システムを導入 [令和5年度] ほうかご図書室事業開始 3校（横川小、第三吾嬬小、第三寺島小） [令和7年度] ほうかご図書室事業 3校（小梅小、菊川小、押上小）追加、6校体制で実施					
議会質問 の 状 況						
そ の 他 特記事項	小中学校の学校図書館に学校司書を配置するとともに、図書館システムの連携を通して、ひきふね図書館から学校図書館の運営及び統計資料等作成の支援を行っている。					

予算・決算額推移（単位：千円）		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算現額（令和7年度は当初予算）		15,286	15,887	14,839	16,127	16,768	90,403
A. 決算額（令和7年度は見込み）		15,107	15,886	14,837	15,934	16,765	90,403
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		15,107	15,886	14,837	15,934	16,765	90,403
執行率（％）		98.83％	99.99％	99.99％	98.8％	99.98％	100％
B. 人コスト		12,351	12,314	8,179	6,810	7,323	
総事業費（A+B）		27,458	28,200	23,016	22,744	24,088	
予算書P（令和7年度）		P238 4-(7)		執行実績報告書P（令和6年度）			

主な予算・決算の内訳（単位：千円）					
令和5年度（決算）		令和6年度（決算）		令和7年度（当初予算）	
節	金額	節	金額	節	金額
役務費	7,587	役務費	7,585	委託料	74,749
使用料及び賃借料	5,997	使用料及び賃借料	6,807	役務費	9,242
委託料	2,350	委託料	2,373	使用料及び賃借料	5,641
				報償費	728
				需用費	43
概 要		概 要		概 要	
・ 学校図書館システムの保守委託及び機器の借上費用等		・ 学校図書館システムの保守委託及び機器の借上費用等		・ 区立小学校図書館運営業務委託（読書活動推進事業費から本経費へ） ・ 区立中学校図書館運営業務委託 ・ 学校図書館システムの保守委託及び機器の借上費用等	

事業の成果	手段に対する指標（活動指標）	指標	学校図書館連携システム稼働日数				単位	日
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		365	令和7年度	目標	366	365	365	365
				実績	366	365	365	365
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	366	365	365	365	366	365
		実績	366	365	365	365	366	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		システムを評価する基準の指標となる、システムの稼働日数を選定した。また、目標値としては、システムが稼働していることを目標として365日とした。						
事業の成果	目的に対する指標（成果指標）	指標	児童・生徒一人あたりの学校図書館年間平均貸出冊数				単位	冊
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		55/10	令和7年度	目標	34/6	36/8	38/9	40/10
				実績	35.7/2.5	38.9/2.5	36.7/2.3	39.1/2.8
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	43/4	46/6	49/8	52/9	55/10	55/10
		実績	45.2/2.8	52.1/3.1	52.1/2.6	52.3/3.2	50.9/3.1	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		学校図書館の読書活動を量的に示す指標として選定。最終目標値については、子ども読書活動推進計画（第4次）の最終年度目標値に再設定した。※小学校の目標値/中学校の目標値						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	学校図書館法・図書館法・墨田区立図書館条例・子ども読書活動推進条例等により、司書の配置・図書館の支援は必須である。また、図書館システムを設置することで、学校図書館の更なる充実を図っている。

課題・問題点
学校図書館システムを充実させるとともに、学校司書が児童・生徒の読書活動の推進を図るため、より効率的な業務環境を整える必要がある。

令和7年度 事務事業評価シート

No. 10

施 策	521 区民が生涯にわたり学び、その成果を活かすことができる環境をつくる					
事 業 名	障害者サービス経費					
主管課	ひきふね図書館				電話番号（内線）	5655-2350
目 的	視覚障害者・高齢者等の図書館を利用することに困難のある区民に対し、必要なサービスを提供する。音訳等のボランティアの育成を図る。					
対 象 者	墨田区立図書館障害者サービス実施要綱に該当する者					
根拠法令 関連計画	障害者差別解消法、視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律（読書バリアフリー法） 墨田区立図書館条例、墨田区立図書館障害者サービス実施要綱、墨田区障害者行動計画、子ども読書活動推進計画					
実施基準	区独自基準	実施方法	一部委託	人員体制・委託先	常勤2、会計年度任用職員3、(株)図書館流通センター	
事業内容	(1) 対面朗読サービス (2) 障害者用資料の貸出・製作 (3) 郵送サービス (4) 個人宅配サービス (5) 団体貸出サービス (6) 出張貸出サービス (7) 出張お話し会 (8) 録音図書用機材の貸出 (9) 障害者サービス（マルチメディアデージー図書など）の普及活動 (10) ボランティアの育成と研修					
経 過	開始年度	昭和49年度			終了予定	
	[昭和49年度] 身体障害者サービス小委員会を設置し開催 [昭和51年度] 視覚障害者への市販テープの貸出開始（資料を自宅に届ける宅配の実施） [昭和52年度] 図書館の市販テープを郵送貸出開始 [昭和53年度] 朗読者養成講座を開催 [昭和55年度] 対面朗読サービスの開催 拡大写本講習会開催 [昭和56年度] 拡大写本サービス開始 [昭和63年度] 点訳者養成講座を開催 [平成2年度] 漢点字講習会の開催 [平成5年度] 出張貸出サービス開始 [平成14年度] 紙芝居、本の読み聞かせ開始 [平成18年度] デイジー講習会を開催（以後毎年開催） 高齢者サービス協力者養成講座を開催（以後隔年開催） [平成23年度] 自館制作の「月刊経済情報」をテープからデージー化へ [平成26年度] 自館制作の雑誌をすべての雑誌をデージー化 [平成28年度] 児童発達支援事業所・放課後デイサービス事業所へのサービス施行開始 [平成30年度] 宅配ボランティア養成講座開始 [令和3年度] りんごの棚団体貸出開始					
議会質問 の 状 況	なし					
そ の 他 特記事項						

予算・決算額推移（単位：千円）		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算現額（令和7年度は当初予算）		2,672	2,171	2,185	2,340	2,379	3,271
A. 決算額（令和7年度は見込み）		1,861	2,079	1,926	1,786	1,827	3,271
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		1,861	2,079	1,926	1,786	1,827	3,271
執行率（％）		69.65％	95.76％	88.15％	76.32％	76.8％	100％
B. 人コスト		18,526	18,472	17,994	17,875	19,223	
総事業費（A+B）		20,387	20,551	19,920	19,661	21,050	
予算書P（令和7年度）		P238 4-(5)		執行実績報告書P（令和6年度）			

主な予算・決算の内訳（単位：千円）					
令和5年度（決算）		令和6年度（決算）		令和7年度（当初予算）	
節	金額	節	金額	節	金額
報償費	905	報償費	994	報償費	1,439
需用費	590	需用費	586	需用費	1,137
使用料及び賃借料	169	使用料及び賃借料	168	使用料及び賃借料	436
備品購入費	82	負担金補助及び交付金	79	備品購入費	219
負担金補助及び交付金	40			負担金補助及び交付金	40
概 要		概 要		概 要	
・ 講師謝礼（音訳者養成講座等） ・ 録音図書等作成音訳者謝礼 ・ 障害者（児）用書籍等購入		・ 講師謝礼（音訳者養成講座等） ・ 録音図書等作成音訳者謝礼 ・ 障害者（児）用書籍等購入		・ 講師謝礼（音訳者養成講座等） ・ 録音図書等作成音訳者謝礼 ・ 障害者（児）用書籍等購入	

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	障害者個人貸出点数				単位	点
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		13,120	令和7年度	目標	8,800	9,280	9,760	10,240
				実績	8,839	9,901	9,925	9,164
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	10,720	11,200	11,680	12,160	12,640	13,120
		実績	7,086	5,723	5,731	6,283	6,059	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		貸出点数は事業の円滑な運営の指標の一つとなることから選定した。 また、目標値については、貸出点数を着実に増やしていく値とした。						
	目的に対する指標 (成果指標)	指標	障害者サービス登録者数				単位	人
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		510	令和7年度	目標	180	190	200	210
				実績	182	214	218	199
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	230	260	320	400	500	510
		実績	222	228	223	235	251	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		障害者サービス登録者数に応じ、事業が円滑に運営されていることを確認できる。目標値は、今までの実績及び墨田区子ども読書活動推進計画（第4次）を踏まえ令和2年度に再設定した。						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	「視聴覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する基本的な計画」に基づき、今後も図書館障害者サービスのPR及びボランティア等の育成を進める。また、「墨田区子ども読書活動推進計画（第5次）」が新たに策定されたことからバリアフリー図書の紹介やイベント等を通して障害児の利用を促進していく。

課題・問題点
障害者サービス登録者は若年層の個人登録が少なく、障害者サービスやバリアフリー図書を知らない方も多い。今後は、おはなし会や講習会、展示、イベント等様々な取り組みを通して若年層への普及啓発活動を積極的に進めていく。